

恐ろしい自然の災害

高原川源流域部は、古くから大噴火を繰り返す焼岳によって水源一帯の荒廃はすざましく、大土石流の流下によって蒲田温泉が全滅したり、多くの田畑や道路・建物が損壊したり、下流部の神岡町においても家屋の流失や浸水などの大きな被害をこうむってきました。



明治22年7月 外ヶ谷大崩壊



昭和37年6月 焼岳噴火



昭和10年 宝橋流失



昭和33年7月 村上橋流失



災害直後



復旧後



平成9年7月 左俣谷土砂崩壊

緑の遊砂地の役割

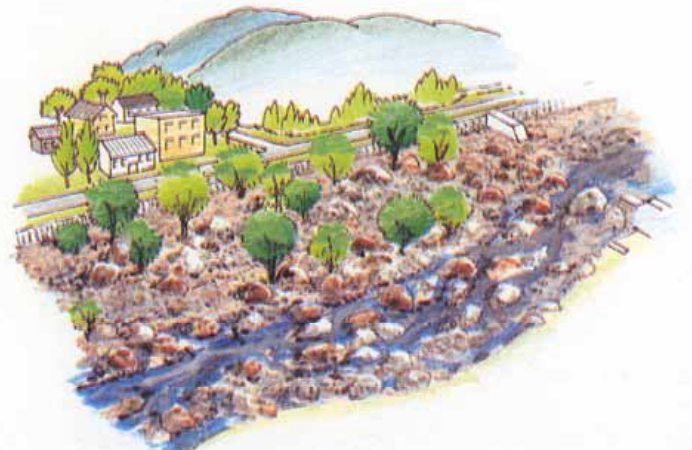
川の中に生えている木々や植林した樹木により、大洪水の時は土砂や流木の流出を防ぎます。また、川底が削られることもなくなり、川の流れを安定させます。

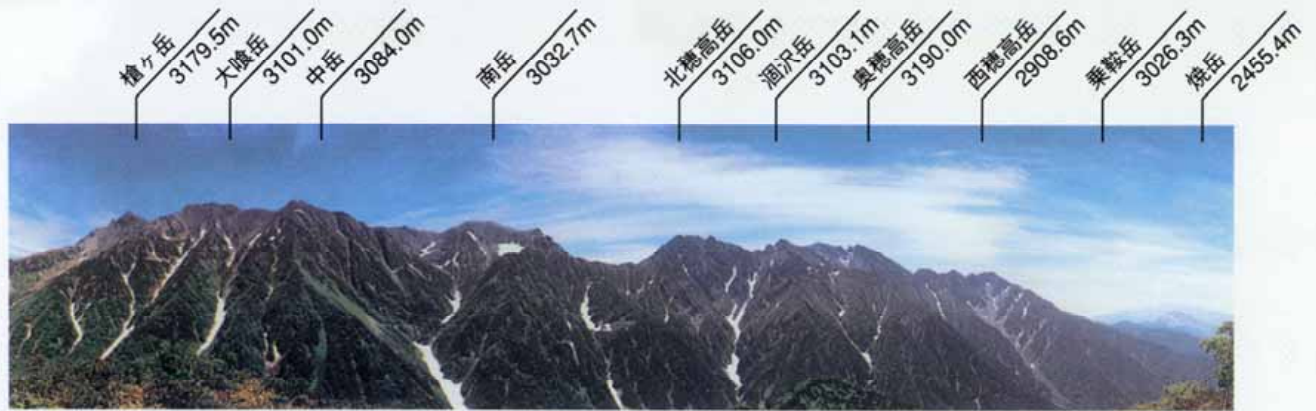
普段は水と緑豊かで、鳥や小動物の行き来や隠れ家となり、地域住民の憩いの広場として使用できます。

ふだんのように



洪水のとき





昭和62年7月 奥丸山より撮影



新穂高ロープウェイ



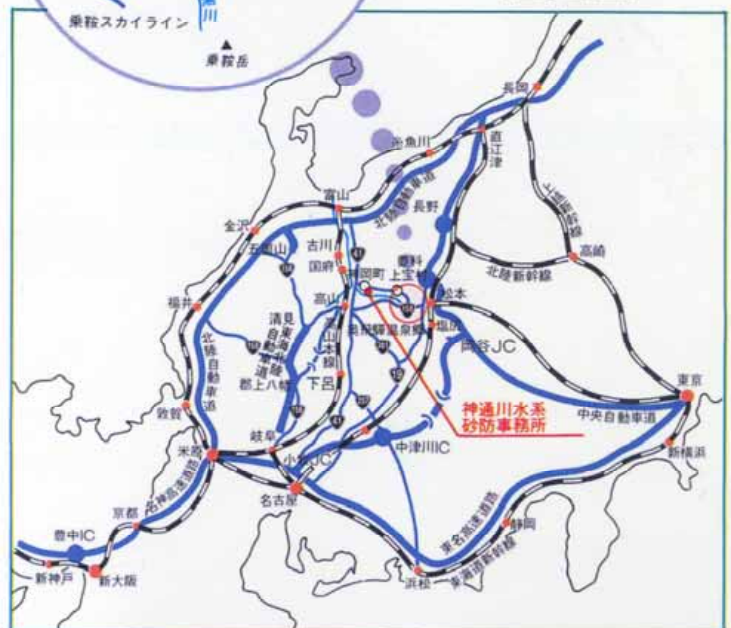
露天風呂



安房トンネル



位置図



平湯大滝

国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所

〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿316-2
TEL (0578) 2-1220(代)
TEL (0578) 2-1221 FAX (0578) 2-2453
ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/jintsu/>

栃尾出張所

〒506-1423 岐阜県古城郡上宝村大字栃尾字栄930
TEL (0578) 9-2052(代) FAX (0578) 9-3553

神通砂防資料館

〒506-1422 岐阜県古城郡上宝村大字中尾字野尻坂2-6
TEL (0578) 9-2133